



総研大ニューズレター

第108号 2017.6発行

●目次

【今月のトピックス】

湘南国際村フェスティバル 2017

広報社会連携室

学融合推進センター研究事業

グローバル共同研究プロジェクト国際シンポジウムについて

生命共生体進化学専攻・准教授 田辺秀之

遺伝学専攻 大学院一日体験会を開催

遺伝学専攻

生命共生体進化学専攻講演会・説明会の開催について

生命共生体進化学専攻

【受賞・採択情報】

【イベント情報】

主なイベント予定

10日

情報学専攻 大学院説明会

14日-19日

JSPS サマー・プログラム 2017

15日-16日

総研大生のための英語ポスタープレゼンテーション短期研修

16日

統計科学専攻 学生研究発表会（ポスター）

統計科学専攻 大学院説明会

17日

高エネルギー加速器科学研究所 平成29年度第1回説明会

【今月のトピックス】

● 湘南国際村フェスティバル 2017

総研大葉山キャンパスのある湘南国際村で行われた地域交流イベント「湘南国際村フェスティバル 2017」において、5月3日（水・祝）に葉山キャンパスで下記のプログラムを開催しました。

◇講演会 講師：長谷川真理子学長
テーマ：「進化から見た人の成長と子育て」
14:30～16:00 場所：2階講義室

長谷川学長は、学長就任後初となる講演会であり、また「湘南国際村フェスティバル」での学長講演も初めてでした。そのため、これまでで最も多いと思われる105名もの参加がありました。「進化から見たヒトの成長と子育て」と題して、



生物学的視点から類人猿と比較したヒトの脳・体の成長過程の違い、ヒトの生活成長と年齢との関係などについて、図表や写真を交えながら90分の講演が行われました。

参加者からは、「ヒトの成長を自分たちの成長や生活と照らし合せて聴くことができ、大変興味深かった」、「チンパンジー・ゴリラと比較することで、ヒトの成長過程の特徴がわかり、大変面白かった」、「内容がわかりやすく、大変勉強になった」といった声が多く寄せられました。また、今回のテーマが子育てについてであったことから、「出産前（子育てを終える前）にお話を伺いたかった」、「娘や息子（孫）を育てていく上で、今回の講演を活かして育てたいと思う」といった声も多く寄せられました。

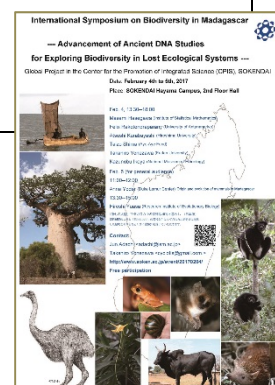


【広報社会連携室】

● 学融合推進センター研究事業グローバル共同研究プロジェクト国際シンポジウムについて

総研大が主催する国際シンポジウムが去る2017年2月4日(土)から5日(日)にかけて、葉山キャンパス講堂にて開催されました。これは3年間のグローバル共同研究プロジェクトの成果報告も兼ねており、「マダガスカル」の生物多様性をメインテーマとして、海外から2名、国内から2名の招待講演者を含む7名より講演が行われ、活発な討論が繰り広げられました。参加者は延べ約50名。講演者と演題は以下の通りです。

	講演タイトル
February 4th Sat. Symposium	
INTRODUCTION	
Takahiro Yonezawa, School of Life Sciences, Fudan University	
「International Symposium on Biodiversity in Madagascar」	
SESSION 1	
1)	Masami Hasegawa, Institute of Statistical Mathematics
「Origin of Extinct Elephant Birds in Madagascar and Evolution of Ratites」	
2)	Felix Rakotondraparany, Département Zoologie et Biodiversité Animale, Faculté des Sciences, Université d'Antananarivo
「The Diversity of Small Mammals in Madagascar and its Preservation from Human Land Use Practices」	
3)	Atsushi Kurabayashi, Amphibian Research Center, Hiroshima University
「A Unique Gene Horizontal Transfer from Snake to Frog Frequently Occurred in Madagascar」	
SESSION 2	
1)	Taizo Shima, Nippon Aye-aye Fund
「On the Conservation of Primates in Madagascar: In the Case of the Aye-aye <i>Daubentonia madagascariensis</i> 」	
2)	Takahiro Yonezawa, School of Life Sciences, Fudan University
「Overview of the Livestock in Madagascar」	
SESSION 3	
Panel Discussion	
February 5th Sun. Public Lecture	
SESSION 1	
Anne Yoder, Department of Biology, Duke University	
「The past, present, and future of Madagascar's lemurs」	
SESSION 2	
湯浅 浩史 (一般財団法人) 進化生物学研究所	
「「第七の大陸」マダガスカルの特殊な植物と暮らし」	



初日の冒頭は米澤隆弘氏(復旦大学 生命科学学院 副教授)による趣旨説明とイントロダクション。マダガスカルの自然環境と生物相全般についての紹介がなされ、聴衆はマダガスカルの世界に引き込まれていく感がありました。自然の宝庫として知られているマダガスカル島は、日本の国土の約1.5倍の面積を占めています。最も近いアフリカ大陸とは約400kmしか隔てられてい



Anne Yoder 氏の講演

ませんが、歴史的には大陸との分離は中生代(白亜紀)にまで遡り、この島独自の自然環境が育まれてきました。そのため、世界一固有種が多く、生物多様性の宝庫となっています。本シンポジウムでは、鳥類(走鳥類、エピオルニス)、哺乳類(テンレック)、両生類(マダガスカル産カエル)、霊長類(アイアイ、キツネザル)、植物(多肉植物、バオバブ)、ヒトに至るまで、分子系統進化、反復配列の進化、行動生態、種分化、自然環境と保全に至るまでの幅広い内容での講演が行われました。

特に2日目の午前中、Anne Yoder氏(Duke大学のLemur Center 所長)は、マダガスカル固有種のキツ

ネザルについて、その過去、現在、未来に渡っての視点で、行動生態から系統進化、自然環境と保全に至るまで話され、そのトークは迫力あるジェスチャーも交えて圧巻でした。長谷川眞理子氏（現本学学長）も熱心に議論に参加し、昼食会、懇親会などでも議論はつきませんでした。

2日目の午後は、湯浅浩史氏（進化生物学研究所 理事長・所長）によりマダガスカル産の多肉植物やバオバブの紹介がなされ、一般の参加者からも質問が多く寄せられていました。

なお、グローバル共同研究の成果として、以下の論文が発表されているので、ご興味ある方はご参照ください。

Yonezawa T et al., Phylogenomics and Morphology of Extinct Paleognaths Reveal the Origin and Evolution of the Ratites. Curr Biol. 2017 Jan 9;27(1): 68-77



講演者と参加者のグループ写真

【先導科学研究科 生命共生体進化学専攻・准教授/学融合推進センター兼担教員 田辺 秀之】

● 遺伝学専攻 大学院一日体験会を開催

遺伝学専攻では、5月20日（土）に国立遺伝学研究所で大学院一日体験会を開催しました。全国各所から遺伝研に27名の参加者が集い、13時から大学院一日体験会が始まりました。

まずはゲストハウスにて桂専攻長の挨拶がありました。大学院生活に関することや、研究の喜びなどについてのお話がありました。そのあとは講堂に移動し、遺伝研の研究者と各研究室のポスターを囲んでの会話が始まりました。遺伝研では多彩な研究室が様々な研究テーマについて研究をおこなっていますので、ポスターも多彩です。参加者の皆さんは関心のある研究室のポスターの前で熱心に研究者の話を聞いていたようです。

ポスターで各研究室の研究を概観したのちには、お目当ての研究室を訪問して、実際の研究環境を見て回り、研究者と直接会話をします。

遺伝研の優れた研究環境や広い研究スペース、研究者の熱意を感じ取ってもらえたことと思います。最後に遺伝学専攻の大学院生との親睦会です。大学院生活などについていろいろな話が聞けたのではないのでしょうか。アンケートからも、体験会を通じて様々な立場の研究者と会話ができて、有意義な時間を過ごしてもらえたことが感じ取れました。

【遺伝学専攻】



● 生命共生体進化学専攻説明会・講演会の開催について

生命共生体進化学専攻は、5月20日（土）に秋葉原UDXカンファレンスにおいて専攻説明会・講演会を行いました。本専攻では毎年2回の説明会を開催しており、今回はその1回目で、合計5名の参加がありました。



寺井助教の講演

前半の講演会では、本専攻における研究の中から最前線のテーマ「新しい種が生まれる時にゲノムに何が起きるか？-魚類とマカクの研究を例に-」、「首都圏通勤ネットワークと感染爆発（パンデミック）-新宿での攻防が勝敗を決する-」、「発見を逃さない方法-哺乳類の知性を探る-」の3つの発表（後述）が行われました。

また、後半の専攻説明会では、本専攻の特徴とカリキュラムの解説に引き続き、専攻の各分野の教員から研究室の研究内容について紹介がありました。ポスター発表では、参加者から、研究内容に関する議論のみならず、大学院に入学した際のテーマの選び方、興味

をもつテーマの実現性、大学院での生活、博士取得後の就職業況、研究指導体制、カリキュラムと学生支援体制など、多岐に渡る質疑があり、活発な意見交換が行われました。「教員から話を聞くことで、インターネットでは分からない情報を知ることができた」という声も聞かれました。

この説明会が、本専攻のことを知る一歩となり、オープンキャンパス、体験入学への参加に結びつき、さらには具体的な意思を持った進学希望者が増えることを願っています。

【プログラム概要】

第1部

13:00-15:00 講演「生命共生体進化学専攻における研究の最前線」

① 「新しい種が生まれる時にゲノムに何が起きるか？-魚類とマカクの研究を例に-」

助教 寺井 洋平

種分化の説明とその重要性、種分化の初期に何がゲノムに起きているかについて、魚類とマカクの最新の研究を例として説明をしました。

種分化の初期には、種を分けるゲノム領域だけが種間で分化し残りの領域は分化がない状態であると考えられていました。実際に種分化したばかりの2種のシクリッドという魚のゲノムを調べると、少数の短いゲノム領域だけが分化しており、ゲノム全体では2種間の違いは見られませんでした。そしてこれらの領域には種分化や種間で異なる形質に関わる遺伝子が存在していました。種分化したばかりのマカクでも同じゲノムの分化が観察されます。そして、これら種分化の初期のゲノムと種分化に関わった遺伝子を調べることにより、種分化の機構の解明に繋がるのではないかとこの内容で話が締めくくられました。

② 「首都圏通勤ネットワークと感染爆発（パンデミック）-新宿での攻防が勝敗を決する-」

教授 佐々木 顕



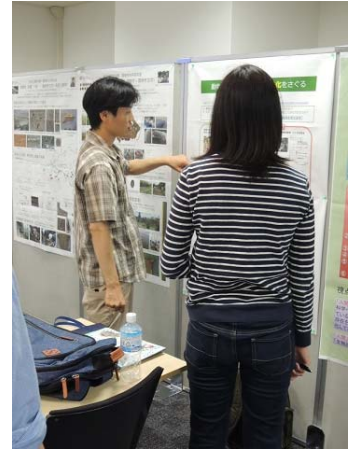
講演を行う佐々木教授

専攻が行っている数理生物学的研究の一例として「首都圏通勤ネットワークと感染爆発：新宿での攻防が勝敗を決する」と題する講演を行いました。講演では感染症の理論研究の歴史や、ネットワーク上の感染ダイナミクスの最近の発展の紹介に続き、強毒の伝染病が首都圏に導入されたときに、どの駅周辺の勤務地への出勤制限を行うのが伝染病の全域への拡大を防ぐ上で最も効果的かを、首都圏交通流動センサスデータをもとに理論的に研究した内容を紹介しました。この研究によると、乗降客数が最大の新宿駅エリアで1人に対策することは、2位（乗降客数は新宿の7割強）の東京駅エリアで10,000人に対策するのと同等の効果があるため、新宿駅エリアだけに対策を集中するべきだという話がありました。

③ 「発見を逃さない方法-哺乳類の知性を探る-

講師 沓掛 展之

研究をしていると、新たな発見の機会が、突然、研究者に訪れることがあります。そのような発見の機会は、多くの場合、予兆もなく訪れます。その発見を、ひとつの研究としてまとめ上げるためには、様々な工夫、機転、柔軟性が必要となります。本講演では、ニホンザルの政権交代、チンパンジーの子殺し、ゾウの物理的知性に関する研究事例から、研究者が新しい発見に至るきっかけ、過程、結末を紹介しました。これらの動物行動学・比較認知科学における事例紹介を通じて、悪戦苦闘を伴う研究現場の実態、研究者の思考過程、研究者間の交流の様子などについての話がありました。



第2部

15:10-16:00 専攻説明会(専攻概要/カリキュラム・入試説明会/研究室紹介) ポスター説明を行う沓掛講師

16:00-17:00 ポスター説明/個別相談

【総務課】

受賞

○物理科学研究科 機能分子科学専攻 平本昌宏 教授

応用物理学会フェロー表彰の第11回受賞者に選出

表彰概要: 学術・研究における業績、産業技術の開発・育成における業績、教育・公益活動を通じた人材育成や教育における業績などにより、特に貢献が顕著であると認められた会員を表彰し、その受賞者に対してフェローの称号が贈呈される。

研究業績: 有機半導体の光・電子機能の研究と有機薄膜太陽電池への応用

○複合科学研究科 極域科学専攻 真壁竜介 助教

日本海洋学会の2017年度日高論文賞を受賞

受賞概要: 日高論文賞は、日本海洋学会が発行する学術誌に掲載された論文の中で、優れたものを表彰する賞です。表彰式は、2017年5月22日(月)に千葉県内で行われました。

受賞論文: Marine artificial structures as amplifiers of *Aurelia aurita* s.l. blooms: a case study of a newly installed floating pier.

(ミズクラゲ発生増幅器としての海洋人工構造物: 浮き栈橋の新設を利用したケーススタディ) [掲載誌: Journal of Oceanography, 70(5), pp 447-455, 2014]

論文URL: <http://link.springer.com/article/10.1007/s10872-014-0249-1>

○複合科学研究科 情報学専攻 龍田真 教授

International Conference on Foundations of Software Science and Computation

Structures (FoSSaCS 2017)で発表された論文に対し、「the EATCS Award for the best ETAPS paper in theoretical computer science」を受賞

受賞論文: Classical System of Martin-Löf's Inductive Definitions Is Not Equivalent to Cyclic Proof System

授与団体: European Association for Theoretical Computer Science (EATCS)

○複合科学研究科 情報学専攻 神保潮さん

xSIG 2017(The 1st. cross-disciplinary Workshop on Computing Systems,

Infrastructures, and Programming) において、「Poster Award」を受賞
受賞タイトル：動的タイム・ボローイングを可能にするクロッキング方式の適用

- 複合科学研究科 情報学専攻 Truong Thao Nguyen さん
鯉淵 道紘 准教授

国際会議 17th IEEE/ACM International Symposium on Cluster, Cloud and Grid Computing (CCGrid 2017)において、Best Poster Award を受賞
受賞タイトル：Cable-geometric error-prone approach for low-latency interconnection networks

イベント情報

○情報学専攻 大学院説明会

日時：6月10日(土)、15:00-18:00

場所：国立情報学研究所（学術総合センタービル）2階小会議室

内容：入試概要説明、学生紹介、ポスターツアー、個別相談など
プログラム：

- 15:00-17:00 情報学専攻の概要、入試概要説明、学生生活紹介、ポスター展示ツアー
17:10-18:00 個別相談会（個別相談への参加には、申込フォームへの記入が必要）

詳細については、下記の URL をご確認ください。

<http://www.nii.ac.jp/about/graduate/guidance/>



○統計数理研究所オープンハウス

（統計科学専攻 学生研究発表会（ポスター）を含む）

日時：6月16日(金)、10:30-17:40

場所：統計数理研究所（立川）

内容：全教員・特任研究員及び大学院生による研究活動紹介

ポスター説明時間（10:30-12:30、各研究者・学生が40分ずつ3交代で内容を説明）

プログラム：

- 10:30-17:40 研究内容ポスター展示
全教員・特任研究員及び大学院生による研究活動紹介

（ポスター説明時間 10:30-12:30）

- 12:50-13:20 研究施設見学ツアー（1回目）

（13:30-15:30 入試相談コーナー）

- 15:40-16:10 研究施設見学ツアー（2回目）

※研究施設見学ツアーは各回先着50名

- 15:40-17:40 複合科学研究科 統計科学専攻 大学院説明会（下記参照）

※対象：統計科学専攻に関心のある大学生・大学院生・社会人

詳細については、下記の URL をご覧ください。

<http://www.ism.ac.jp/openhouse/2017/index.html>



○統計科学専攻 大学院説明会

日時：6月16日(金)、15:40-17:40

場所：統計数理研究所（立川）

内容：入試ガイダンス、カリキュラムの説明、学生による学生生活と研究テーマの紹介、個別相談及び研究室訪問など。

詳細については、下記の URL をご覧ください。

<http://www.ism.ac.jp/senkou/setsumeikai.html>

○高エネルギー加速器科学研究科平成 29 年度第 1 回説明会

日時：6 月 17 日(土)、13:00- (受付開始 12:30)

場所：日本教育会館 9 階 第五会議室

内容：高エネルギー加速器科学研究科内 3 専攻（加速器科学専攻・物質構造科学専攻・素粒子原子核専攻）の案内や各専攻の研究内容紹介など。

詳細については、下記の URL をご覧ください。

<http://kek.soken.ac.jp//sokendai/admission/setsumeikai/>



○高エネルギー加速器科学研究科平成 29 年度第 2 回説明会

日時：7 月 4 日(火)、10:00- (受付開始 9:30)

場所：高エネルギー加速器研究機構 つくばキャンパス（茨城県つくば市大穂 1-1）

内容：高エネルギー加速器科学研究科・3 専攻の紹介、ポスターセッションによる 3 専攻の紹介、Q&A コーナー・教員との懇談及び、KEK つくばキャンパス施設見学

詳細については、下記の URL をご覧ください。

<http://kek.soken.ac.jp//sokendai/admission/setsumeikai/>

○平成 29 年度国立天文台・総研大サマースチューデント（夏の体験研究）プログラム

期間：8 月 1 日(火)-8 月 30 日(水)、8 月 31 日（成果発表会）

募集定員：10 名程度

対象：大学理工系学部 2 年生または 3 年生（高等専門学校の同等学年に在学する者を含む。）

内容：国立天文台の観測所で天文学研究の最前線に触れる研究体験を、受入教員のもとで行い、修了時に研究発表を行う。

申込締切：平成 29 年 6 月 19 日(月) 必着

募集要項・参加申込書ダウンロード、参加申込書の郵送先については、下記の URL をご覧下さい。

<http://guas-astronomy.jp/ss.html>

○構造分子科学専攻/機能分子科学専攻 夏の体験入学

日時：8 月 7 日(月)-10 日(木)

場所：分子科学研究所（愛知県岡崎市明大寺町西郷中 38）

内容：分子を対象とする実験的・理論的研究体験

研究室に参加して、2~3 日で完結するテーマで実験や理論計算などを体験。研究所の他のメンバーとの交流の場もあり。

対象：大学 1~4 年生、大学院修士課程学生

定員：20 名程度（参加費無料）

申込締切：平成 29 年 6 月 25 日(日)

プログラムの詳細及び申込方法については、下記の URL をご覧ください。

<https://www.ims.ac.jp/education/taiken.html>

※総研大・物理科学研究科「夏の体験入学」事業の一部として、実施されるもの。

○平成 29 年度第 3 回基礎生物学専攻 大学院説明会・オープンキャンパス

日時：平成 29 年 8 月 25 日(金) 12:30-17:30

場所：基礎生物学研究所（岡崎 明大寺地区）

内容：基礎生物学専攻、入試、授業等カリキュラム等の説明。研究室紹介、総研大生の生活について。部門・研究室見学など。

詳細については、下記の URL をご覧ください。

<http://www.nibb.ac.jp/graduate/>



○遺伝学専攻 体験入学随時コースの募集開始

期間：原則 3 泊 4 日~5 泊 6 日、11 泊 12 日までの範囲で延長可能

場所：国立遺伝学研究所（三島）

内容：遺伝研所内のゲストハウスに滞在し、実験だけでなく、討論、セミナー参加など遺伝研

での研究生活を体験。

募集人数：若干名

応募資格：学部3年生以上、高専専攻科生、修正課程大学院生

応募締切：随時

申込方法の詳細については、下記のURLをご覧ください。

<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/phd-program/taiken#anytime>

レクチャー情報

○学融合レクチャー「結晶の対称性・群論－基礎コース」開講

本講義は、物質の対称性や群論の知識を学んでいただくことを目的とし、結晶学で重要な根本原理と幾何学との関係を軸に、講義と演習を繰り返しながら進行します。受講生は、「対称性・群論」の知識を駆使して各自の研究を掘り下げることができるようになります。（授業概要より抜粋）

日時：平成29年7月31日(月)－8月4日(金)

場所：高エネルギー加速器研究機構（つくばキャンパス）研究本館 会議室1

単位数：2単位（使用言語：日本語）

担当教員：ネスポロ・マッシモ

（フランス・ロレーヌ大学 結晶学教室 教授 / 国際結晶学連合 数理結晶学 委員会前委員長）

「結晶の対称性・群論」を深く学べる大学が殆どない中で、非常にユニークな講義となっています。なお、昨年度行われた講義の様子は、総研大ニューズレター第106号(2017年4月12日発行)に掲載されております。講義の様子を知りたい方は、第106号をご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

申込期日：平成29年6月13日(火)－6月28日(水) 必着

※総研大生については、一般受付(6月20日開始)に先立ち、6月13日より申込を開始。定員がありますので、お早めにお申込みください。

レクチャーの詳細や参加申込方法については、下記URLをご確認ください。

日本語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170731/>

英語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170731eng/>

○学融合レクチャー「大学教員を目指す人のための教育の方法・技術」開講

本授業は大学等の教員として授業をすることを目指す方を対象に、基礎的な教育方法論・授業論を学び、授業を通じて自らの研究成果を効果的に教授していくための知識・技術・態度を身につけてもらうことを目的としています。授業は講義と演習で構成します。事前に自らの研究を基にした授業計画草案を持ち寄り、授業論に関する講義等を受けた後、飯田市の市民の方を対象とした授業計画案を作りあげ、実際に授業を行ってまいります。（授業概要より抜粋）

日時：平成29年9月21日(木)－23日(土)

※授業日程が9月19日(火)－21日(木)に変更になる可能性があります。

場所：長野県飯田市（JR飯田駅周辺）

単位数：1単位（使用言語：日本語）

担当教員：菊地浩平（学融合推進センター 助教）、七田麻美子（理事付 准教授）、大石雅寿（天文科学専攻 准教授）、木村暁（遺伝学専攻 教授）

対象者：本学および他大学の大学院生（修士課程および博士課程の全学年対象）。

将来大学の教員になりたい人、自分の研究を授業という形で伝えたいと思っている人などの参加をお待ちしております。

申込期日：平成29年6月30日(金) 必着

レクチャーの詳細や参加申込方法については、下記URLをご確認ください。

日本語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170921/>

英語：<https://www.soken.ac.jp/event/20170921eng/>

●基盤機関の行事

6月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中- 7月14日(月祝)		特集展示「見世物大博覧会 現代編」 国立歴史民俗博物館 第4展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
5(月)-9(金)		電波天文観測実習 国立天文台 野辺山宇宙電波観測所	http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/html/misc/45school.html
8日(木)	16:30-18:00	第218回 Nichibunken Evening Seminar 「The Ontology and Icon Formation of the Tea Bowl」 国際日本文化研究センター セミナー室2	http://research.nichibun.ac.jp/ja/events/archives/evening_seminar/cal/2017/06/08/s001/index.html
9日(金)	11:00-18:00	国立情報学研究所オープンハウス2017 研究成果一般公開～基調講演・デモ・ポスター展示など	http://www.nii.ac.jp/openhouse/
9日(金)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
9日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体：木星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
10日(土)	11:00-17:00	国立情報学研究所オープンハウス2017 研究成果一般公開～研究100連発・デモ・ポスター展示など	http://www.nii.ac.jp/openhouse/
10日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
10日(土)	13:00-16:30	手話通訳者のための「みんぱくで手話言語学を学ぼう!」2017 国立民族学博物館 第3セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20170603syuwamanabu
11日(日)	14:30-15:15	みんぱくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「民家調査のい〜ろ〜は：建築人類学をはなにをめざす」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/469
12日(月)- 7月11日(火)	10:00-16:30	展示特設コーナー「馬琴生誕250年記念展示～伝奇小説の世界～」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bakin.html
12日(月)- 9月16日(土)	10:00-16:30	通常展示「書物で見る 日本古典文学史」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bungakushi201706-09.html
13日(火)	18:30-20:30	第311回 日文研フォーラム 「筆談で見る明治前期の中日文化交流」 ハートピア京都 大会議室	http://events.nichibun.ac.jp/ja/archives/cal/2017/06/13/index.html

14日(水)	18:30-20:00	サイエンスカフェ:「南極と北極で氷を掘って過去の地球環境を探る」 国立極地研究所 南極・北極科学館	http://www.nipr.ac.jp/science-museum/event.html#cafe20170614
16日(金)	10:30-17:40	統計数理研究所オープンハウス “未知のフロンティアに挑む統計数理 —素粒子から宇宙まで—” 統計数理研究所(立川)	http://www.ism.ac.jp/openhouse/2017/index.html
17日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
17日(土)	13:30-15:00 (13:00開場)	みんなくゼミナール「つくられる移民」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/469
18日(日)	10:25-16:35 (10:00開場)	音楽の祭日2017 in みんなく 国立民族学博物館 特別展示館等	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fetedelamusique/2017/index
22日(木)	11:30-12:15	展示ギャラリートーク 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bungakushi201706-09.html
24日(土)	13:30-15:30	第219回くらしの植物苑観察会「古代の薬草と東アジア」 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/plant/observation/index.html
24日(土)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:木星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
25日(日)	14:30-15:15	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう「世界都市ランキングと大阪」 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/salon/470

7月

開催日	時間帯	イベント名称・開催場所	参考URL
開催中- 7月11日(火)	10:00-16:30	展示特設コーナー「馬琴生誕250年記念展示～伝奇小説の世界～」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bakin.html
開催中- 9月16日(土)	10:00-16:30	通常展示「書物で見る 日本古典文学史」 国文学研究資料館 1階展示室	http://www.nijl.ac.jp/pages/event/exhibition/2017/bungakushi201706-09.html
1日(土)	13:15-	4D2U定例公開 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
1日(土)	14:00-17:00 (開場13:30)	公開講演会「メソアメリカとアンデスの古代文明と現在」 国立民族学博物館 第4セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/rm/20170701
2日(金)	18:30-20:00	サイエンスカフェ:「南極から宇宙を測る」 国立極地研究所 南極・北極科学館	http://www.nipr.ac.jp/science-museum/event.html#cafe20170602
7日(金)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/

7日(金)	19:30-	国立天文台三鷹 定例観望会 <観望天体:土星> 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/stargazing/
8日(土)	13:00-15:00	第401回歴博講演会「漆芸からみえる沖縄のすがた」国立歴史民俗博物館 講堂	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
8日(土)	13:00-16:30	手話通訳者のための「みんなくで手話言語学を学ぼう!」2017 国立民族学博物館 第3セミナー室	http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/rm/20170603syuwamanabu
8日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
8日(土)	14:30-16:30	平成29年度 核融合科学研究所 市民学術講演会「チンパンジーの心、人間の心」セラミックパークMINO	http://www.nifs.ac.jp/event/170708.html (予定)
11日(火)-9月3日(日)	09:30-17:00	企画展示「URUSHIふしぎ物語-人と漆の12000年史-」国立歴史民俗博物館 企画展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html
11日(火)-9月3日(日)	09:30-17:00	特集展示「楽器と漆」国立歴史民俗博物館 第3展示室	http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/special/index.html
13(木)-9月16日(土)	10:00-16:30	展示特設コーナー「アーカイブズが語る近世後期の多摩地域」 国文学研究資料館 1階展示室	
15日(土)	13:15-	4D2U定例公開「巨大銀河の形成」 国立天文台三鷹キャンパス	https://prc.nao.ac.jp/4d2u/
15日(土)	13:30-15:00 (開場13:00)	みんなくゼミナール「ネパールの楽師カースト・ガンダルバの現在」 国立民族学博物館 講堂	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar/470



【広報社会連携室から】

○総研大は、来年2018年に創立30周年を迎えます。

10月1日の創立記念日を中心に、式典の開催、修了生による講演会、ロゴ・スローガン・キャラクターの作成、寄付口座の開設及びホームカミングデーの開催などを考えています。これらにつきご意見のある方、また、これら以外のアイデアのある方は、30周年事業担当の田村学長補佐 (katsumi_tamura@soken.ac.jp)、あるいは、広報社会連携室 (kouhou1@ml.soken.ac.jp) まで、ご意見をお寄せください。

ーメディア・イベント出演情報ー

○長谷川学長のコラム「時代の風」が毎日新聞にて連載中です。

長谷川学長は2016年4月から、毎日新聞に「時代の風」というコラムを連載(6週間に1回)しています。毎日新聞紙面に掲載された連載記事の内容は、本学HPからも読むことができますので、ご興味のある方はご一読下さい。(6月7日(水)現在、第10回目まで掲載しております。)

本学HPのトップ画面の「学長通信」のバナーからぜひご覧下さい。

ー時代の風(毎日新聞掲載)ー

http://www.soken.ac.jp/outline/message_index/hasegawa_mariko/kaze/

○5月3日(水)、大学ジャーナル(UNIVERSITY JOURNAL ONLINE)に本学、国立極地研究所、国文学研究資料館、京都大学などの研究グループの研究が取り上げられました。

「藤原定家が見たオーロラ、京都大学など科学的に解明」

掲載URL：<http://univ-journal.jp/13482/>

3月21日(火)にプレスリリースした「『明月記』と『宋史』の記述から、平安・鎌倉時代におけ

る 連発巨大磁気嵐の発生パターンを解明」(<http://www.soken.ac.jp/news/35250/>)の内容です。

○学融合推進センター塚原直樹助教の研究が5月15日(月)にLMT onlineに掲載されました。

「Communication with crows eyed through use of artificial intelligence」

掲載 URL :

<http://www.lmtonline.com/news/article/Communication-with-crows-eyed-through-use-of-11146459.php>

○5月19日(金)に県立横須賀高校で行われた長谷川学長による講演会の様子が5月20日(土)発行の神奈川新聞に掲載されました。

広報社会連携室では、各専攻の担当教員の「メディア出演」を総研大HP並びに総研大ニューズレター掲載等により発信しておりますので、出演情報を是非お寄せください。なお、メディア出演情報は「出演します/出演しました」どちらでも構いませんので、ご提供のほどよろしくお願いいたします。

○神奈川新聞連載コラム記事について

本学の知名度向上と総研大教員の研究の社会還元を目的として、神奈川新聞リレー記事『最先端の現場－総研大発－』を平成28年6月10日(金)から毎月隔週(第2・第4金曜日)で、平成29年5月26日(金)まで全24回で掲載しておりました。

連載記事は、総研大HP上でも見ることができます。

詳細は、下記のURLをご覧ください。<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/column/>

(総研大HP上での掲載は、権利関係上、掲載日から1年間のみとなります。)

【連載全24回の執筆者一覧】

掲載順	掲載日	研究科	専攻	執筆者	役職
1	6/10	葉山本部	広報社会連携室	眞山聡	講師
2	6/24	物理	宇宙科学	橋本博文	准教授
3	7/8	文化	国際日本研究	細川周平	教授
4	7/22	物理	構造分子科学	正岡重行	准教授
5	8/13	生命	遺伝学	斎藤成也	教授
6	8/26	複合	極域科学	猪上淳	准教授
7	9/9	高エネ	物質構造科学	千田俊哉	教授
8	9/23	文化	日本歴史研究	山田康弘	教授
9	10/14	物理	天文科学	有本信雄	教授
10	10/28	複合	統計科学	吉田亮	准教授
11	11/11	先導	生命共生体進化学	寺井洋平	助教
12	11/25	文化	地域文化学	野林厚志	教授
13	12/9	高エネ	加速器科学	土屋公央	准教授
14	12/23	生命科学	生理科学	井本敬二	教授(専攻長)
15	1/13	文化	日本文学研究	海野圭介	准教授
16	1/27	物理	核融合科学	後藤基志	准教授
17	2/10	葉山本部	学融合推進センター	西中美和	特任准教授
18	2/24	物理	機能分子科学	小杉信博	教授
19	3/10	葉山本部	学融合推進センター	内川明香	助教
20	3/24	高エネ	素粒子原子核	宇野彰二	教授
21	4/14	複合	情報学	稲邑哲也	准教授
22	4/28	生命	基礎生物学	藤森俊彦	教授
23	5/12	文化	比較文化学	松尾瑞穂	准教授
24	5/26	葉山本部		永山國昭	名誉教授

ご執筆いただいた先生方に心から御礼申し上げます。

○広報特派員の募集について

広報社会連携室では、広報特派員を募集しております。総研大の広報活動にご協力いただける

学生さんの応募をお待ちしております。

詳細につきましては、下記URLをご覧ください。

<http://www.soken.ac.jp/disclosure/pr/information/corres/>



【編集後記】

総研大ニューズレター第108号をお届けします！

6月、梅雨の季節になりました。葉山キャンパスの6月と言えば、JSPS サマー・プログラムの時期ですね。JSPS の裏では、「総研大生のための英語ポスタープレゼンテーション短期研修」が開催されます。広報として、JSPS と英語ポスタープレゼンテーション短期研修の様子をカメラに納めたいと思います。

話は変わりますが、今年の4月に総研大の玄関にある看板を新しくしました！葉山キャンパスを訪れる際には、綺麗になった看板をご覧ください。

また、葉山キャンパス共通棟1階に、新たに広報用の掲示板を設置しました。この掲示板には、各専攻からいただいたイベントのポスター・チラシの他に、広報社会連携室からのお知らせを掲載しております。情報共有スペースとして活用していきますので、よろしくお願いいたします！



新しくなった総研大正面の看板

トピックスの原稿をご寄稿いただけましたら、総研大ニューズレターへ掲載いたしますので、総研大関係のイベント、受賞情報等ありましたら、是非とも広報社会連携室まで情報をお寄せください。

広報社会連携室 E・A

広報社会連携室では、メディアを通じて総研大の研究成果を広く社会に発信しています。特に、総研大在学生在が筆頭著者として研究論文を出版する際、プレスリリースを行う場合は、総研大と所属専攻（基盤機関）との共同プレスリリースを行っておりますので、是非総研大広報社会連携室までご連絡ください。

各専攻の学生・担当教員の「メディア出演」、「受賞・表彰」および「地域社会と連携・密着したアウトリーチ活動等の社会連携・貢献活動」についてニューズレター、ウェブ掲載等により発信しておりますので、各種情報を是非お寄せください。

研究論文を投稿する場合や、メディア等に出演される場合は、「総合研究大学院大学」と表記いただきますよう、総研大の知名度向上にご協力をお願いいたします。

発行 2017年6月7日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

SOKENDAI (THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES)

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

広報社会連携室

TEL 046-858-1590 / FAX 046-858-1632

Email kouhou1(at)ml.soken.ac.jp

※(at)は@に変換してください。

©2017SOKENDAI